



2025年2月7日

各 位

会 社 名 SWCC株式会社  
代表者名 代表取締役 CEO 社長執行役員 長谷川 隆代  
(コード番号 5805 東証プライム)  
問 合 せ 先 経営戦略部長 北川 陽一  
(TEL. 044-223-0530)

持分法による投資損失および貸倒引当金繰入額（営業外費用）の計上  
ならびに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年3月期第3四半期連結会計期間（2024年4月1日～2024年12月31日）において、下記の通り、持分法による投資損失および貸倒引当金繰入額を計上しましたので、お知らせいたします。

つきましては、2024年11月12日に公表しました2025年3月期（2024年4月1日～2025年3月31日）の連結業績予想を下記の通り修正することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 持分法による投資損失および貸倒引当金繰入額の背景と内容

当社の持分法適用会社である富通昭和線纜（杭州）有限公司（以下、F S H）の親会社である富通集団有限公司（F S Hの株式保有割合51%）が、中国国内の光事業の低迷に伴い業績が悪化したことをうけて、F S Hの親会社に対する債権の貸倒リスクを勘案し、当社は、2025年3月期中間連結会計期間にF S Hに対する持分法による投資損失2,927百万円を営業外費用として計上しました。

その後、2025年3月期第3四半期連結会計期間に、F S Hが実質的に債務超過となりました。これを受け、当社においても、F S Hに対する当社の出資額および当社グループの全債権について、持分法による投資損失4,080百万円と貸倒引当金繰入額2,060百万円を営業外費用として計上しました。また、同じく持分法適用会社である富通昭和線纜（天津）有限公司（以下、F S T）に対する全債権についても貸倒引当金繰入額314百万円を営業外費用に計上しました。

2. 業績に与える影響

本件の業績への影響につきましては、本日公表の「2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

なお、今回、F S Hに対する当社の出資額および当社グループのF S HおよびF S Tに対する全債権について最大限のリスクを織り込み、その全額を営業外費用に計上したことから、本件に関する今後の損失の発生はございません。

また、F S Hについては、中国の政府機関と協力しながら経営の正常化を目指しており、当社グループの債権については、引き続き回収に努めてまいります。

### 3. 業績予想の修正について

#### (1) 2025年3月期通期連結業績予想値の修正（2024年4月1日～2025年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2024年11月12日発表)	百万円 234,000	百万円 20,500	百万円 17,000	百万円 10,000	円 銭 338.29
今回発表予想 (B)	234,000	20,500	10,500	10,000	338.29
増減額 (B-A)	0	0	▲6,500	0	-
増減率 (%)	0.0	0.0	▲38.2%	0.0	-
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	213,904	12,824	12,213	8,838	297.12

#### (2) 修正の理由

上記記載のとおり、当第3四半期連結会計期間に持分法による投資損失と貸倒引当金繰入額を営業外費用に計上したことにより、経常利益が減少する要因となりました。一方で、エネルギー・インフラ事業の業績が期初想定を大きく上回り推移し今後も好調を維持すると見込まれることから、売上高および営業利益の変更はしておりません。さらに、同期間に土地及び政策保有株式の売却による特別利益を計上したことから、親会社株主に帰属する当期純利益についても変更しておりません。

(注) 上記予想値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報を基に作成したものであり、実際の業績等は、この資料に記載されている予想とは異なる場合がございます。

以上